

# 4

## 論説文(1)

### 確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈只木良也「森と人間の文化史」より〉

(注) 情緒⇨感情。

森林浴⇨森林に入り、樹木の香気を浴び、精神的な安らぎと、爽快そうかいな気分を得ること。

□(1) ———線①「自分」、②「彼」、③「生みの親」は、それぞれ何をたとえていますか。本文中からそれぞれ二字で書き抜いて答えなさい。

①	.....
②	.....
③	.....

□(2) — 線④「森林の酷使」は、具体的にどのようなことですか。「森林」「資材」ということばを必ず用いて、「〜使うこと。」という形で、二十五字以内（句読点も字数に数えます）で答えなさい。

使									
う									
こ									
と									
。									

□(3) — 線⑤「疎遠な関係」と対照的な意味で使われている七字のことばを、本文中から書き抜いて答えなさい。


□(4) — 線①～④「それ」の中から、指示内容が他の三つと異なっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

--

□(5) — 線⑥「どんなにわれわれの生活に恩恵を与えているか」とありますが、「恩恵」の内容を最も具体的に述べている一文の最後の十字（句点も字数に数えます）を書き抜いて答えなさい。


□(6) ※に入る最も適切なことばを、本文中から一語で書き抜いて答えなさい。


□(7) — 線⑦「それを無視し、おろそかにするとき」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□①「それ」は何を指していますか。本文中から十五字で書き抜いて答えな

--

さい。

□②「無視し、おろそかにする」とほぼ同じ意味になるように、次の□に入る最も適切な五字のことばを本文中から書き抜いて答えなさい。

〈□にする〉


□(8) 次の文は、この文章のある段落の最後に書かれていたものです。その段落の番号を書いて答えなさい。

〈それは森林の持つ仕組みをうまく利用していたことと、森林が育つのに適したわが国の気候が助けてくれたおかげでした。〉

--

□(9) この文章を通して、筆者が最も強く述べたこととして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 日本人は今ままであまりにも石油の力に頼り過ぎてきたので、これからそれを改めなければならない。

イ 現在の日本の繁栄は石油の力であり、それは日本人の生活を支えているくうえでも重要な基盤の一つになっている。

ウ 日本人は、文明を支えている森林についての知識をもっと豊かにして、森林を大切にしていかなければならない。

エ 国土の三分の二をも森林が占める国に住むわりには、わが国の人々はあまり森林に対して関心を寄せていない。

--

●  
**練成問題**

- ① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



(注) 秘儀Ⅱ秘密の儀式。

□(1) 段落Ⅰには、文章の流れから考えて不適切な二字熟語があります。それを書き抜き、正しい二字熟語に直して答えなさい。

↓

□(2) □① □③ に入ることばの組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア① あるいは ② ところで ③ しかし
- イ① たとえば ② しかし ③ ところで
- ウ① さて ② だから ③ たとえば
- エ① ところで ② しかも ③ さて

--

□(3) 線①「その資格」とはどのような資格ですか。「～資格」という形で、十五字以内(句読点や符号も字数に数えます)で答えなさい。

		資格	。		

□(4) 線②「特異な個人」の例として、本文ではどのような人々があげられていますか。三字以内で二つ書き抜いて答えなさい。


□(5) 線③「人間の歴史をふりかえってみる」とありますが、筆者は、「読書」が「人間の歴史」の上でどのようなものであったと意義づけてい

ますか。本文中から十二字で書き抜いて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(6) 次の文は、本文中のどの段落について説明したものですか。最も適切な段落を選び、番号で答えなさい。

〈経験の入手の難しさについて、時代の流れに目を向けながら、具体的な事例をいくつか取り上げている。〉

--

□(7) 本文で述べられている内容と合うものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間の歴史は他人の経験を共有する読書に支えられていたが、経験の独占が進むことにより、文明社会の自由は失われてきたのである。
- イ 読書論は人間の成長に役立つので多く書かれているが、その読書論によつて経験の共有の仕方や秘伝の方法について考えるべきである。
- ウ 読書は著者のところやからだの経験を共有することであり、その経験を貪欲に手に入れることによつて、人間は成長していくのである。
- エ 武術の免許皆伝や芸能、技術の秘伝は、文明社会になる以前に行われていたもので、文明社会になってからはまったく行われていない。

--

□(8) ※に入る適切なことばを、「他人」「自分」ということばを必ず用いて、「～ということ」という形で、二十字以内(読点も字数に数えます)で答えなさい。

		と	い	う	こ	と	